



「適切な判断と行動で自分の命を守ってください!!」

Take safe action to save lives.

(命を守るために安全な行動をとる)

Be careful of sudden changes in weather.

(天候の急変には注意する)



「災害への備え」と「油断しない」が必要!!

先日の熊本豪雨で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

台風や大雨は、毎年全国各地で大きな災害をもたらしています。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減したりすることが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認してください。また、災害発生は今後も続く可能性があることを忘れないでください。

1 家の外の備え

- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納したりする。

2 家の中の備え

- ・非常用品を確認する。
懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- ・室内からの安全対策をする。
飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしたりしておく。
- ・水の確保をする。
断水に備えて飲料水や生活用水を確保する。

3 避難場所の確認

- ・避難場所への避難経路を確認しておく。
- ・家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- ・避難時は、持ち物を最小限、両手が使えるよう。



4 非常持ち出し品を用意

- ・飲料水、乾パンやクラッカーなど、レトルト食品、缶詰など
- ・救急医薬品、常備薬、マスクなど
- ・現金(小銭も)、預金通帳、印鑑、健康保険証など、身分証明書
- ・下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴
- ・缶切、鍋や水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュなど

災害ボランティアについて

- 1 新型コロナウイルス感染拡大が心配される状況なので、当分の間は身の回りの出来ることをやってください。
- 2 ボランティア活動を行なわなければならない場合は、顔の見える「近隣地域」が適切な活動範囲です。
- 3 被災地でボランティアをすることだけが被災地支援ではありません。身近な場所での後方支援も重要な活動の一つです。